

平成19年9月25日
株式会社新生銀行
(コード番号: 8303)

広報、IR機能の強化について

全てのステークホルダーに対する透明で開かれた企業となるため、広報およびIR部署の責任者として経験豊富なプロフェッショナルを採用いたしました。

主要なステークホルダーに対し当行の戦略と業績に関する十分な情報を提供するため、国内および海外の投資家とのリレーションを担当するグループIR部のチーフIRオフィサーとしてレイモンド・スペンサーを任命しました。スペンサーは、日本語が堪能で、筑波大学大学院で化学修士号を取得、ENPC国際ビジネス大学院でMBAを取得。日本では通算12年にわたり、金融業のオリックス、エネルギー・環境分野のジョンソン・コントロール、IT分野のAMDにおいて、それぞれIR部門、広報、ならびに営業・マーケティング部門において勤務してまいりました。

また、広報部の責任者として、ベテランジャーナリストのドナルド・マッキンタイヤーを採用しました。マッキンタイヤーは日本において10年以上にわたり、日本経済新聞、ブルームバーグならびにタイムマガジンに勤めた後、韓国に渡り、タイム社のソウル支局を立ち上げ、支局長を務めました。彼もまた日本語が流暢で、スタンフォード大学の1年間のフェローシップを終えたところです。その間、朝鮮半島情勢に関する米国メディアの報道状況に関する会議の開催に携わりました。

当行社長のティエリー・ポルテは次のように述べています。「マーケットがグローバル化し、メディアが多様化した今日においては、マスコミ、投資家ならびに一般に対する明確でタイムリーなコミュニケーションがかつて無いほどに重要になっています。そのため、当行では体制を強化することいたしました。」

広報部ならびにグループIR部は密接に連携しつつ当行に関するご説明、バリューならびにメッセージを全てのステークホルダーに伝えてまいります。

以上